Webex Calling PSTN Number Assignmentエラーメッセージ

内容

問題

PSTN番号をWebex発信側組織に追加しようとすると、番号を追加しようとしている組織に番号がすでにプロビジョニングされている場合でも、システムは番号が「別の組織によって現在使用されている」ことを示すエラーメッセージを表示します。この誤解を招くエラーメッセージは、エラー処理ロジックにおいて、別の組織に割り当てられた番号と、すでにこの組織に割り当てられている番号が区別されないために発生します。

具体的には、次のPSTN番号を追加しようとする場合です。

- （419）671-1111
- （419）671-2222

このエラーメッセージは、これらの番号が要求元の組織に実際にプロビジョニングされている場合に、別の組織がこれらの番号を使用していることを誤って示しています。

環境

- Webex通話プラットフォーム
- クラウドおよびハイブリッド製品
- Webexの通話場所、機能、および設定
- 管理インターフェイスを使用してPSTN番号を追加しようとしている組織

解決方法

この問題を解決し、PSTN番号の実際のプロビジョニングステータスを確認します。

ステップ1：番号プロビジョニングステータスの確認

シスコテクニカルサポートに連絡して、問題のPSTN番号のプロビジョニング状態を確認してください。サポートエンジニアは、番号が実際に自分の組織に割り当てられているか、別の組織に割り当てられているのかを確認できます。または、Control Hubの管理者は、PSTN & Routing > Numbersで番号がすでに組織にプロビジョニングされていることを確認できます。

ステップ2：エラーメッセージを理解する

番号がすでに組織にプロビジョニングされている場合、「currently in use by another org」というエラーメッセージは誤解を招くものであることを認識してください。システムエラー処理では、次の項目は区別されません。

- 別の組織に割り当てられた番号
- 組織に既に割り当てられている番号

ステップ3：現在の割り当ての確認

番号が組織にすでにプロビジョニングされていることが確認された場合は、番号のプロビジョニングに対してそれ以上の操作は必要ありません。これらの番号は、Webex通話環境ですでに使用できます。

ステップ4：リクエストエンジニアリング機能拡張（オプション）

必要に応じて、「別の組織で使用中」と「この組織にすでに割り当てられている」とを区別するより具体的なメッセージを表示するように、エンジニアリング・チームにエラー処理の改善を依頼できます。 ただし、これには製品の機能拡張が必要であり、即時のトラブルシューティングの一部ではありません。

原因

根本的な原因は、Webexコーリングシステムのエラー処理ロジックにおける使いやすさの問題です。システムは、異なる組織に割り当てられているPSTN番号と、要求元の組織にすでにプロビジョニングされている番号を区別しません。この結果、番号を追加しようとしている同じ組織に実際に割り当てられている場合、その番号が「別の組織によって使用中」であることを示す誤解を招くエラーメッセージが表示されます。

エラー処理コードを拡張して、エンジニアリングチームがこれらの2つの異なるシナリオを区別し、より正確なエラーメッセージを管理者に提供できるようにする必要があります。

関連コンテンツ

- シスコのテクニカルサポートとダウンロード

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。